

【やってみた】アリケイス吸入液の薬剤師外来

肺 MAC 症の新薬アリケイス吸入液&ラミラネブライザシステムですが、当院ではしばらく候補患者に呼吸器内科医が提案するものの、最終的に導入まで至らないことが続いていました。理由は主に高額医療制度の限度額上限に貼付く医療費負担、または高齢独居などでネブライザの管理が困難というところです。

ですが最近、2件相次いでアリケイス吸入液の導入がありました。

1例目は当院でも初めての症例なので入院で導入しましたが、アリケイスも現在は DPC 対象のため入院導入は赤字だったので、2例目以降は外来導入ということになっていました。そして2例目の患者さんが現れたので、呼吸器内科医、外来看護師、薬局薬剤師と連携を取りながら、薬剤師外来を構築して導入した事例の紹介になります。

今後微調整はするかもしれませんが、当院でアリケイス吸入液を導入する際の大きな流れとしては概ね完成していると考えており、面薬局の先生方にも継続処方のお薬をお願いすることがあるかもしれません。その時はよろしくお願いします。



アリケイスとラミラネブライザシステム(アリケイス.jp より)

【大まかな流れ】

- ・ 医師からアリケイス導入を検討している連絡が薬剤師に入る→外来日程の調整
- ・ 初回薬剤師外来でアリケイス吸入液による治療の説明と同意、導入にあたり必要な申込書の記載
- ・ 導入外来
- ・ 薬局との連携

Step1：初回外来準備

まず、医師からアリケイスを検討している患者の連絡が入ります。

電子カルテで予習し、基本的なアリケイス導入の妥当性を確認。外来看護師に連絡し、医師の外来に合わせて薬剤師外来を設定します。

準備する主なものは

- ・アリケイスウェルカムパック

MR から入手します。保冷剤付きのリュックに患者向け説明資料、バイアルオープナー、蒸気滅菌器、超音波洗浄器の申込ハガキなどが入っています。

後述のアリケイスサポートの申込み用紙も入っていたのですが、最近配布されている版には入っていませんでした。ネットからも申込みできますが、ネット申込みが難しそうな患者さんの場合は事前に MR から申込み用紙を入手しておいた方がよいと思います。

- ・説明動画入り専用タブレット端末

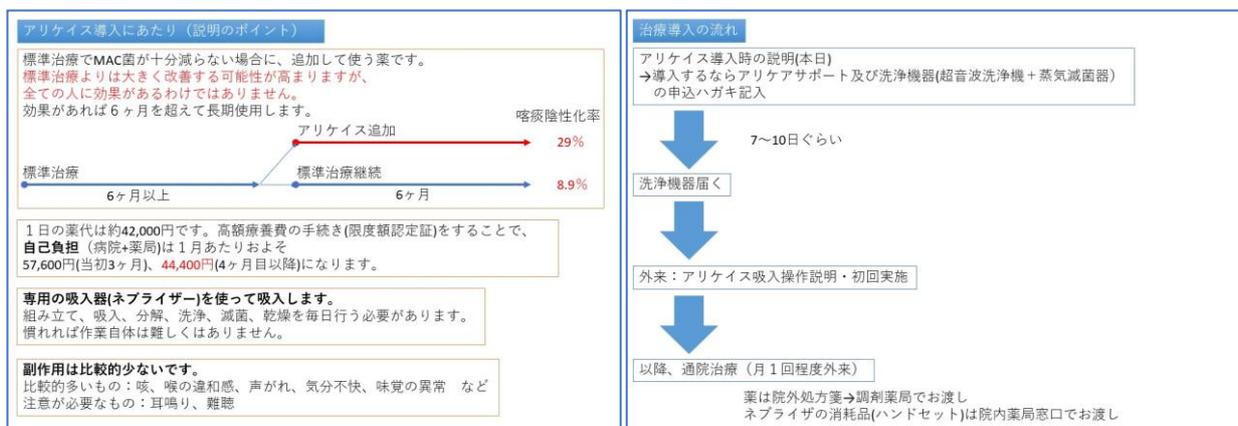
MR から入手します。

- ・導入フロー説明用紙（自作）

説明、即導入にはできないので、大まかな流れを説明するために使います。



ウェルカムパック



導入フロー説明用紙

・概算費用の確認 医事課に説明して概算の費用を出してもらいます。

高額医療費の上限に貼付くので、厚生年金の方だと区分エ、当初 3 ヶ月 57,600 円、4 ヶ月目から多数該当の適用で 44,400 円が多いかと思えます。

Step2：薬剤師外来(IC 支援)

医師の外来日。外来の後に薬剤師外来に通されます。

説明の要点としては、

・現行の治療に上乘せするもので、統計的に今の治療を続けて改善する可能性が約 1 割、アリケイスを上乘せすることで約 3 割に上昇する。難治性肺 MAC 症でありアリケイスを使った方全員が治るとは言えないが、副作用は軽いので試してみる価値はある。

あわせて主な副作用の説明。

・一方で、医療費が一気に高くなることと、ネブライザーによる吸入の煩雑さから、導入しない選択をされる方も少なくない。説明を聞いたから必ずやらないといけないものではないのでよく考えてください。

・事前に確認した概算費用の解説

・限度額認定証をとっているか確認。とっていないければ必要になるので市役所に相談するよう説明

・説明動画端末で吸入操作を見せながら操作イメージを持ってもらう

・お薬手帳の確認（相互作用チェック、投薬を受ける薬局の確認）

一通り説明を行い、治療導入するか伺います。即時に決断ができなければ次回以降の回答でもよいことは申し添えておきます。

治療導入するとなれば、アリケアサポート(メーカーによる患者支援プログラム)の登録(ネット or 申込用紙)、蒸気滅菌器・超音波洗浄器の申込ハガキを記入していただき、書いている間に医師に導入を決断されたことを報告します。

ハガキ等は受け取って投函します。

今後の投薬を受ける薬局について希望を確認します。

今後の流れと導入外来で用意していただきたいものを書いたメモをお渡しして終了します。ウエルカムパックはお渡しして導入外来で持ってきていただくか、説明資料のみ持ち帰

っていただいております。

導入外来時に患者に持参していただくもの(メモをお渡し)：

蒸気滅菌器、超音波洗浄器、ペーパータオル1束、ボウル(漬け置き用)、食器洗い洗剤(少量)

Step3：初回外来～導入外来までの間の準備

蒸気滅菌器・超音波洗浄器が患者宅に配送されるまでに7～10日程度かかるため、通常2週間後に導入外来が設定されます。

この間に

- ・アリケイス吸入液及びラミラネブライザシステム一式の在庫手配

導入外来だけ院内処方とし、その次の外来時点で数日の余りがあるよう、在庫手配します。

これにより、薬局では院外処方箋を受け取ってから発注、発送する時間の余裕ができるので、在庫を持たずに済むので、今後薬局にも依頼しやすいと思います。

- ・薬局へ一報入れておく

初回の外来では薬局の先生に関わっていただく部分は必ずしもありませんが、今後投薬お願いする旨連絡しておきます。都合が付けられるなら導入外来に立ち会っていただいて薬局の先生にも操作の確認及び患者に顔見せしておくのもよいと思います。

- ・電カルに付箋で各種オーダーの仕方を貼っておきます。

初回は全て院内処方。アリケイスは7日単位で処方し、次回外来より多く処方してください(薬局に処方箋を持ち込んでから発注、配達となるため)

初回はアリケイスネブライザシステムでハンドセットも1個含まれます。

以降月1回ハンドセットを供給します(当院ではオーダー可能)。ハンドセットは在宅抗菌薬吸入療法指導管理料で交付するもの(自己血糖測定器の針・センサーと同様)なので、院内処方になります。それ以外はアリケイス吸入液含めて院外処方できます。

- ・ハンドセットの滅菌

ハンドセットは使用前にも滅菌しておく必要があります(超音波洗浄は使い始めてから1週間に一度実施)。そのため外来導入では導入外来前日に薬剤部でハンドセットを滅菌しておきます。

当初は蒸留水で煮沸滅菌していましたが、今後の件数増加を見越して蒸気滅菌器は患者が購入するものと同じものを購入しています(amazon 等で売っています)。

- ・保冷剤の冷凍

当日アライクス吸入液を持ち帰るためにウエルカムキット付属の保冷剤を冷やしておきます。

- ・外来ブースの確保

洗浄等を行うため、外来看護師に相談して水道の使える外来ブースを確保しておきます。前日までに必要物品をまとめておき、外来直前に運び込みます。

- ・当日朝、患者来院を電カルで確認したら、アライクス吸入液を1バイアル冷蔵庫から取り出して常温に戻しておきます(45分以上、オーバーナイトでもよい(※)ので患者宅ではその日の吸入が終わったら片付けの流れで翌日分取り出しておいてよい)。

※室温に戻した後4週間使用可能

Step4：導入外来

医師の診察後、準備した外来ブースに患者を誘導し、動画や薬剤師からのサポートのもと、一連の準備→吸入→片付けを実行してもらいます。

メーカーで操作手順をまとめたチェックリストを作成しているので、これを入手して確認に利用してもよいと思います。

一通り終わったら患者退室し、片付け。会計後に残りのアライクス吸入液を保冷剤とともにウエルカムキットのリュックに入れてお渡しします。

Step5：病薬連携

導入が完了した旨薬局へ連絡します。次回外来予定日と、その時点のアライクスの残数見込みをお知らせします。

院内での薬剤師外来としての関与は原則ここまでで、以降は薬局で投薬を受けていただきます。

FAQ

Q1：蒸気滅菌器・超音波洗浄器は医療費控除の対象になりますか？

A1：厳密には税務署判断ですが、医師の指示のもと購入した物品になりますので、コルセットなどと同じく医療費控除の対象になると思われます。

Q2:アリケイスは治験ですか？

A2:治験は終了し、上市されています。通常の保険診療になります。

Q3:14分吸入続けるのは大変です

A3:一時停止ボタンがありますので、適宜休憩を挟んで大丈夫です。

まとめ

薬剤師外来を挟むことで、デッドストックを作るリスクが軽減される、導入指導ができていたのでフォローしやすい、何かあったときに薬剤師同士で情報交換ができるというメリットが作れました。薬局にとっても受けやすい体制にできたかと思います。

メーカー(インスメッド合同会社)には導入当初からいろいろ資材や情報提供のご協力いただきました。アリケイスの梱包単位が7本/箱なのだけ、今回の運用ですとネックになる(※)ので、1本あるいは10本/箱の梱包単位を要望しています。

頻繁に出る薬ではありませんが、患者さんをご紹介させていただくときはご協力よろしくお願ひします。

(文 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 薬剤部 杉田英章)

※ 外来時点で2~3日分の余りを持たせ、薬局で処方せん受付後に発注できるようにしたいですが、外来も7日の倍数で設定されるため、端数出ないように処方すると次回外来時点で余りを作れないため。

参考：アリケイス.jp(医療者向け) <https://arikayce.jp/>

アリケア.net(患者向け) <https://aricare.net/>